

11

平成30年度 団体

iwakura-shi siminkatsudou-joseikin
Heisei30nendo katsuyoujissekihokokusyo
11 no dantai-ga samazamanajigyuu-wo okonatta kirokudesu.

はじめての
一歩
コース

ステップ
アップ
コース

■キミノセカイ～Kids☆Photo～



■ひだまり会



■NPO 法人はんどいんはんど



■岩倉市こども会連絡協議会



■彩 音 (いろおんぷ)



■古文書に親しむ会



■NPO 法人ローカルワイドウェブいわくら



■おこまま



■こどもと未来をつなぐ虹の会



■西洋音楽ガラ夜話実行委員会



■いわくらフォークジャンボリー



活用実績報告集

11の団体が行った事業の記録集

平成30年

平成31年

4月1日 → 3月31日

平成 30 年度市民活動助成金活用実績報告集もくじ

1. 岩倉市市民活動助成金とは

(はじめの一步コース)

2. カメラを通じて『自己肯定感』を育てる「こども写真教室」運営
【キミノセカイ～Kids☆Photo～岩倉支部】
3. 市民の健康づくりと憩いの場を提供する事業「ひだまりサロン」【ひだまり会】

(ステップアップコース)

4. 孤育てじゃないよ！全員集合♪【NPO 法人はんどいんはんど】
5. 親子でイモイモ大作戦【岩倉市子ども会連絡協議会】
6. ～みんなで歌おう～歌えば明日が元気になる事業【彩 音】
7. 古文書に親しみ、いにしえに想いをはせ「岩倉」を学ぶ事業【古文書に親しむ会】
8. 子育て世帯の母親による楽器演奏事業【おこまま】
9. 子どもや親の自己肯定感を育む事業【こどもと未来をつなぐ虹の会】
10. 「音楽のあるまちづくり」推進支援事業【NPO 法人ローカル・ワイド・ウェブいわくら】
11. 西洋音楽ガラ夜話【西洋音楽ガラ夜話実行委員会】
12. 岩倉市民とフォークソングを楽しむ事業【いわくらフォークジャンボリー】
13. 令和元年度の市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

市民活動助成金についての問い合わせ先

岩倉市総務部協働安全課市民協働グループ（市役所 6 階）

Tel : (0587) 38-5803

e-mail : kyoudou@city.iwakura.lg.jp

市民活動助成金についての相談窓口

岩倉市市民活動支援センター 岩倉市昭和町二丁目 17 番地 市民プラザ内

Tel : (0587) 37-0257

e-mail : city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp

岩倉市市民活動助成金とは

地域が抱える諸課題の解決を図り、市民の福祉向上やまちづくりに貢献するなど、市民活動団体が主体的に取り組むモデル的な事業に対して財政支援を行い、団体活動の活性化や市民活動の拡充を図るものです。

応募された事業については、目的、事業内容などを公開の場で発表する「企画提案発表会」を経て、助成する団体と助成金の額を決定します。

助成の種類及び助成額

《はじめの一歩コース》

これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動に対し助成します。

補助期間：1年 **補助金額**：限度額5万円 **補助率**：90%以内

《ステップアップコース》

年間を通して計画的に事業が実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業に対して助成します。

補助期間：1年ごと **補助金額**：限度額15万円
補助率：1回目 70%以内
 2回目 50%以内
 3回目 30%以内

《イベントコース》

対象年度内に実施する単年度計画のイベント等の活動に助成します。

補助期間：1年 **補助金額**：限度額5万円 **補助率**：50%以内

- ※ 複数の団体と協働して行う場合には、どの部門も補助率を10%加算します。
- ※ 令和元年度の助成金対象事業は、14ページに掲載されています。
- ※ 令和2年度の募集に関しては、令和元年11月上旬に公表されます。

令和2年度市民活動助成金についての予定

令和元年 10月上旬	： 助成金説明会
令和元年 11月上旬	： 申請書類受付 開始
令和元年 11月上旬	： 市民活動助成金説明&相談会
令和元年 12月上旬	： 申請書類受付 締切
令和2年 2月上旬	： 企画提案発表会
令和2年 3月上旬	： 内定通知
令和2年 4月上旬～	： 決定通知、助成金事業開始

カメラを通じて『自己肯定感』を育てる「こども写真教室」運営



事業総額 62,203 円 対象経費 59,203 円 助成額 50,000 円

・主に講師料、備品購入費として利用 *協働団体：まちづくり百貨店

◆目的

他者理解、関係性づくりのためのコミュニケーション力のベースが「自己肯定感」であり、未来を拓く上で重要だと考え、「自己肯定感」を育む環境をつくる。

◆事業報告

【内容】

- ・4/8 五条川周辺での写真撮影 お祭り広場 こども10人、保護者6人
- ・4/13～22 こども写真ミュージアム in アピタ岩倉店 2018
- ・4/23～28 こども写真ミュージアム in 岩倉市民ギャラリー2018
- ・7/4～22 こども写真ミュージアム in のんほいパーク 2018
- ・1/12～20 こども写真ミュージアム in セントラルギャラリー2019

【成果】

- ・こどもの自由な発想で撮った写真を、たくさんの人に見てもらうことができた。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・桜が早くに咲き始め、当日には葉桜となってしまったが、こどもたちは、菜の花や花壇の花、面白い屋台を見つけて撮影を楽しんだり、葉桜の美しい五条川を撮影したりした。
- ・県内数カ所で開催する写真展で、岩倉五条川桜の美しさをアピールすることが出来なかった。

【改善等】

- ・桜まつりの期間にこだわらず、3月末に開催する計画を立てた方が良い。
- ・市内2カ所で展示したが、もっとたくさん展示できる場所の開拓をしていきたい。
- ・令和元年度は、総合体育文化センターでも展示を予定している。

市民の健康づくりと憩いの場を提供する事業「ひだまりサロン」



事業総額 67,900 円 対象経費 67,900 円 助成額 50,000 円

・主に講師料、食糧費として利用 *協働団体：全日本年金者組合岩倉支部(健康麻雀クラブ)

◆目的

生活相談や市の事業なども紹介しながら、個人の生きがいにつながる活動をする。

◆事業報告

【内容】

- ・健康ヨガ（第3児童館）及び、交流サロン（ひだまり）
年間8回 火曜日 13:00～15:00 参加者 延べ40人（各回5人）
- ・健康マーじゃん 毎月1回 木曜日 参加者 延べ48人（各回4人）

【成果】

- ・健康ヨガは身体をほぐしその機能を高め、同時開催の交流サロンでは参加者同士のコミュニケーションを深めることで、心身の健康に繋がった。
- ・健康マーじゃんは、脳のトレーニングや交流を行うことができ、認知症予防など脳の健康にも繋がった。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・参加者が思うように集まらなかった。
- ・チラシ等で呼びかけるよう工夫する。

【改善等】

- ・参加者の需要に合わせて、曜日等の変更を検討する。

孤育てじゃないよ！全員集合♪



子育て川柳大募集

はんどいんはんどでは、子育て中のさまざまなみなさんを対象に子育てで感じたことや、伝えたいことを募集していきます。
その第1弾として、**パパの川柳**を募集します！！
お子さんへの気持ちや、日頃のあんなことやそんなこと、いろいろな思いを「パパの川柳」にして伝えてみませんか？

★応募要項
 必要事項をご記入の上、メール又は案内裏のチラシにご記入の上FAXにてお送りください。

！応募上の留意点
 ・応募作品はオリジナルのものに限ります。
 ・応募作品の著作権はNPO法人はんどいんはんどに帰属するものとします。
 ・事情により、コンテストを中止する場合があります。
 ・選考した作品を、岩倉市内はじめとするはんどいんはन्दの掲示物に掲載する場合があります。

～記載事項～
 ・氏名(ふりがな)
 ・年齢
 ・ご住所
 ・電話番号
 ・メールアドレス
 【ごまでの内容は非公表です。こちらからの連絡用とさせていただきます。】



おべんどう
なんでおれまで
離乳食

事業総額 52,443 円 対象経費 52,443 円 助成額 35,000 円

・主に講師料、印刷費として利用

◆目的

夫婦間での家事・育児に対する認識の違いや、立場が違って相互的に理解し合う関係を育む。地域で育児を支え合うことができる社会を作る。

◆事業報告

【内容】

- ・6/24 第1回父親交流会「パパトークサロン@メンズクッキング」親子6組、17人
ホットケーキミックスを使った、親子での蒸しパン作り
- ・2/3 第2回父親交流会「パパトークサロン@アクティブTIME」親子3組、9人
なわとびを作って親子で遊ぶ
- ・子育て川柳 チラシの配布や、交流会参加者などへの呼びかけにより募集

【成果】

- ・想定よりも申込人数が殺到した(当日キャンセルが多く出た回もあったが)。
- ・参加者アンケートでは、今後の参加に意欲的な声が大きく、長期的に行きたい。
- ・川柳募集は、複数の応募があったが、選考するには数が少なかったため、中間発表のみにして次年度も引き続き募集していく。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・本業の病児保育事業で手がいっぱいとなり、計画していた交流会を1回行えなかった。
- ・「料理」をテーマにした企画が初めてで、参加費の決め方が難しかった。
- ・川柳企画も初めてで、具体的な形にしていくのに時間がかかってしまった。

【改善等】

- ・活動計画の中に、保育のことだけでなく、助成金事業についても盛り込む。
- ・他の団体の催し等にも参加し、遅れなく、より良いものを計画していきたい。

親子でイモイモ大作戦



事業総額 70,733 円 対象経費 66,948 円 助成額 29,000 円

・主に借上料、人件費として利用 *協働団体：岩倉ボランティアサークル

◆目的

就学前及び低学年の児童に自然体験などを通じて、人と人、人と地域のつながりを作る。

◆事業報告

【内容】

- ・5/20 苗植え…14 家族（大人 19 人、子ども 16 人）第 1 農園
- ・10/20 収穫祭…18 家族（大人 24 人、子ども 24 人）第 1 農園、第 2 農園
第 2 農園は収穫のみ参加の家族用で、主催者側が植えた。JA 愛知北の解説、指導協力あり。
鬼まんじゅう作りと餅つき…協力：いわくら OYG クラブ（OYG）
熾火づくりからの焼き芋とレクリエーションゲーム…協力：岩倉ボランティアサークル（IVC）

【成果】

- ・家族内、交流の無い家族間、OYG や IVC、岩子連メンバーとの交流の場が持てた。
- ・土に触れ自然の中で作物が育つことを、子どもたちに体験を通して感じてもらった。
- ・普段は調理されたものしか食べる機会のない子どもたちに、貴重な体験を提供できた。
- ・事業目的の「子ども会への関わり」に理解を求める話をし、未就学児家庭の加入に期待。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・雨天・台風時の計画、連絡・確認方法、会場レイアウトに工夫が必要。
- ・畑を 2 カ所準備し、焼き芋用の芋を購入せず、あらかじめ植えた芋を掘って使った。
- ・JA 愛知北から芋の苗やマルチシートを提供してもらうことができた。
- ・参加者と主催者、協力団体とが交流できる体験プログラムを設けた。

【改善等】

- ・参加者の電話番号だけでなくメールアドレスも聞く。
- ・雨天、強風なども想定した事業計画を立てる。

～みんなで歌おう～歌えば明日が元気になる事業



事業総額 63,177 円 対象経費 63,177 円 助成額 50,000 円

・主に備品購入費として利用 *協働団体：岩倉ハーモニカクラブたんぽぽ

◆ 目的

演奏者と地域の人々が共に歌う環境をつくることで、ふれあう機会をつくり、人の輪をより広げていくことを目的とする。

◆ 事業報告

【内容】

- ・ 4/24 歌声カフェ 珈琲家 花ごろも 30 人
- ・ 5/4、12/24 慰問コンサート みのりの里 (2 回) 各 20 人
- ・ 5/23、10/24 慰問コンサート 花むすび (2 回) 各 20 人
- ・ 慰問コンサート (岩倉ハーモニカクラブたんぽぽと協働)
かみのクリニック、丹羽外科、そよ風 (全 14 回)

【成果】

- ・ はじめた頃にくらべると、歌ってくれる人が増えたように思う。
- ・ 笑顔で歌ってもらうことが私たちの目標なので、少しずつ目標に近づいていると実感している。

◆ 課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・ 前回と同じ歌が重ならないよう、みんなが歌えるよう、毎回、選曲には時間をかけている。
- ・ 鈴などでリズムを取れるように、楽器を渡している。

【改善等】

- ・ 歌詞カードを用意しているが、慰問では模造紙に大きな文字で書き、見やすくする。
- ・ みんなが上を向いて歌えるように工夫する。

古文書に親しみ、いにしえに想いをはせ「岩倉」を学ぶ事業



事業総額 208,030 円 対象経費 208,030 円 助成額 85,000 円

・主に講師料、消耗品費、備品購入費として利用

◆ 目的

岩倉の歴史を紐解き後世に語り継ぐためには、現存する古文書を読み解き、整理し、保管していく必要があるため、古文書に実際に接し学ぶ機会を創出する。

◆ 事業報告

【内容】

- ・例会：毎月第2・第4水曜日 9:30～11:30 市民プラザ会議室1
- ・会員数：19人（男8人、女11人）
- ・内容：岩倉市所有の文書を写したり、近隣市町の資料などを用意したりして、楽しみながら解読している。

【成果】

- ・古文書にふれ、少しずつ楽しみながら学習できている。
- ・仲間意識が芽生えてきている。
- ・その時代や生活に思いをめぐらし、続けていく事が大きな喜びと励みに変わりつつある。
- ・会員の人数が年度内に5人増えた。

◆ 課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・各人の進捗状況が異なるため、会員同志が集い学習できる場の提供を考える。
- ・広く市民に「古文書ってなに？」と知って貰うよう、展示や解説の機会を持つ。

【改善等】

- ・例会とは別の日に、会員同志が教え合う、フリーの自習会を設定する。
- ・展示の場所や内容を検討していく。

子育て世帯の母親による楽器演奏事業



事業総額 36,512円 対象経費 36,512円 助成額 18,000円

・主に会場使用料、備品購入費として利用

◆目的

近隣に頼れる親族や友人の少ない子育て世帯は不安や孤独感を抱いていることが少なくなく、いざという時に助け合いができる交友関係を築き、母親同士の情報交換・交流の場をつくる。

◆事業報告

【内容】

- ・施設、イベントでの演奏活動
5/24 お誕生日会（子育て支援センター）、6/22、12/14 妊産婦交流会（市民プラザ）
9/23 岩倉市市民プラザまつり（市民プラザ）、12/14 クリスマス会（北名古屋市）
- ・お下がりあげますの会（市民プラザ）4回 各回 50～80人
- ・イベントの練習、情報交換、子ども同士の交流 週1回程度（市民プラザ・北名古屋市）

【成果】

- ・イベントや現会員の呼びかけにより、新会員3組が入団した。
- ・地域イベント（アピタ岩倉店での演奏会、おしゃべりの会）に呼ばれ、参加できた。
- ・岩倉市民プラザまつりでは幅広い世代に演奏を聴いてもらえた。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・お下がりあげますの会では、混雑した中、参加親子には、いかに和やかに過ごしてもらえるかが課題で、今回子ども向け手遊びの時間を設け、好評だった。
- ・市民プラザの駐車場が足りなくて、参加できない親子が多くいた。
- ・妊産婦交流会では、参加親子がより楽しめる時間を過ごしてもらうことが課題である。

【改善等】

- ・お下がりあげますの会では、岩倉市総合体育文化センターでの開催を試みる。
- ・妊産婦交流会では、新しい手遊びや曲などの練習に励む。

子どもや親の自己肯定感を育む事業



事業総額 25,560 円 対象経費 25,560 円 助成額 15,000 円

・主に講師料、人件費として利用 *協働団体：コミュニティカフェかがよひ

◆目的

自分の存在は社会にとって必要ないという自己肯定感の低い子どもや大人に対して、子ども親もお互いに大切な存在だという認識を高める。

◆事業報告

【内容】

おしゃべりの会（座談会）

- ・ 9/15 おこま演奏会、お下がりあげますの会（いいかふえ）乳幼児親子 9 組
- ・ 11/3 フラダンスを取り入れた運動（おさや糸店、かがよひ）小学生親子 5 組
- ・ 2/23 自己肯定感を高める絵本の読み聞かせ（生涯学習センター）中高大学生の父母 6 人

【成果】

- ・ 親子共にリラックスした時間を過ごし、普段話せないことが話せて良かった。
- ・ 母自らが楽しみながら子育てできることに多くの共感を得た。
- ・ 体を動かした後、心と身体もほぐれて日頃感じていることを共有できた。
- ・ 会のメンバーと参加者が同世代のため、共感度が高まった。
- ・ こどもがどのような時期に、どういう成長過程を踏むのかを共有できた

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・ 古民家の和室で輪になって、子どもたちと話したり、触れ合ったりできるようにした。
- ・ 受付人数が少なく会計に手間取った。小学男子が恥ずかしがり、なかなか参加してくれない。
- ・ 座談会の時にボランティアが子どもを遊ばせてくれ、親は話し合いに集中できた。

【改善等】

- ・ 座談会での話題出しに時間がかかったので、次回から話題を準備しておく。
- ・ メンバーの体験を基に、様々な年代における子どもの心の移り変わりを話題にする。

「音楽のあるまちづくり」推進支援事業



事業総額 144,221 円 対象経費 144,221 円 助成額 72,000 円

・主に講師料・交通費、備品購入費として利用

◆目的

クラシック以外の音楽や、音楽にふれる機会・関心を持つ機会が少ない人も巻き込む。
「音楽のあるまちづくり」の実現に向けて具体的なテーマについて検討し、実施につなげる。

◆事業報告

【内容】

- ・5/12 IBAON ジョイント 音楽祭先進地から招いた講師の話と双方のライブ 35人
- ・推進会議 (4 回) 各テーマの実現に向けての話し合いとイベントの企画 延べ78人
- ・1/20 おんしんプロジェクト!まつり
プロからアマまで6組の演奏と、4組の取り組みのプレゼン 120人
- ・おてらいぶ 吉祥寺に開催の相談をしたが日程が合わず、来年度の6月に開催で準備中

【成果】

- ・今後、わが町での実践につなげられる、先進地の詳細な話が聞けた。
- ・会議で練られたことや繋がりが実践につながり、各プロジェクトが具体的に動き出した。
- ・おんしんプロジェクト!と、その取り組みを広く市民に知ってもらうことができた。
- ・来年度以降、各プロジェクトを実施する上で協力していく人材を集められた。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・招聘した先進地とのライブやセッションを取り入れたことにより、より親密に話げできた。
- ・なかなか話を前に進めることができず、参加人数が減った時期があった。
- ・推進会議では、ミニライブを休憩時間に行うことで参加の楽しみを増やした。
- ・今までプロジェクトに関わってこなかった人に演奏してもらい、つながりが作れた。

【改善等】

- ・今出てきている大きなプロジェクトの実現のため、多くの市民を巻き込む取り組みをする。
- ・音楽環境弱者に対するプロジェクトのために、より幅広い参加者を募る仕組みを作る。

西洋音楽ガラ夜話



事業総額 18,000 円 対象経費 18,000 円 助成額 5,000 円

・主に講師料として利用 *協働団体：オクトパス合奏団

◆目的

「ハードルが高そう、堅苦しくつまらない、楽器演奏も難しそう」という声の聞かれるクラシック音楽や現代音楽を楽しもうとの意識を持ってもらうため、聴く機会や学ぶ機会を作る。

◆事業報告

【内容】

- ・11/7 「二人だけの管弦楽団と学ぶ、楽式論（音楽を形式から学ぶ方法論）」 7人
 - ・12/5 「ラッパの魅力 2」 11人
- 場所：コミュニティカフェかがよひ

【成果】

- ・参加者は、音楽の楽しみ方、理解の仕方が深まった。
- ・いつもとは異なる音楽の聴き方で演奏を楽しむことが出来た。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・集客に苦勞した。

【改善等】

- ・事業内容のテーマが、狭く深いものであるため、集まりにくいのかも知れない。
- ・広く浅いテーマ選定の検討も今後必要であると感じた。

岩倉市民とフォークソングを楽しむ事業



事業総額 63,698 円 対象経費 63,698 円 助成額 19,000 円

・主に会場使用料、備品購入費として利用

◆目的

近隣市町からも気軽に参加して一緒に歌ってもらえるようなコンサートを開催し、「音楽のあるまち岩倉市」をより活性化させる。

◆事業報告

【内容】

- ・ 7/6 こころの居場所「あみ〜ご」七夕会（ふれあいセンター） 約 30 人
- ・ 8/26 サマーコンサート 2018（市民プラザ） 約 150 人
- ・ 1/24 東町ゆうわ会 新年会（東町会館） 約 30 人
- ・ 2/17 ロビーコンサート 2019（市役所ミニステージ） 約 70 人
- ・ 3/30、31 さくらまつり「リバステ・ジャンボリー2019」 約 50 人

【成果】

- ・ 毎年開催しているサマーコンサートとロビーコンサートは過去最多に近い集客人数。
- ・ 社会福祉協議会から初めて出演依頼を 2 件もらい、活動範囲が更に広がった。
- ・ さくらまつりイベントには、他の団体や個人の方にも出演してもらい、交流範囲が広がった。
- ・ オープンマイクの実施や、市民プラザまつりで岩倉総合高校フォーク部とコラボ出演も。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・ 今年初めて主催したさくらまつりイベントでは、会場探しや出演者募集に苦勞したが、早い段階からの交渉や声掛けにより実現できた。
- ・ SNS（Facebook, インスタグラム、Youtube）を活用した。
- ・ QR コードを印刷した名刺を作成し配布した。

【改善等】

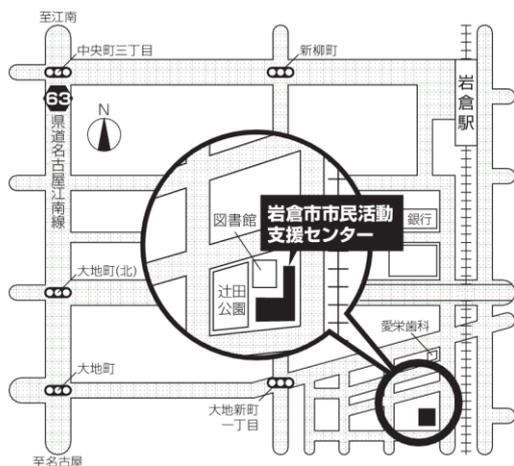
- ・ 近隣の市の施設にもチラシを置いてもらうよう、岩倉市から依頼してもらいたい。

令和元年度 市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

コース	番号	団体名	事業名	内 容
はじめの 一歩	1	HappineSS	介護施設・児童施設等 での慰問活動	①(9月, 2月) 介護施設においてヴァイオリンとピアノを演奏するミニコンサートの実施 ②(12月) 児童施設においてヴァイオリンとエレクトーンを演奏するクリスマスコンサートの実施 ③(8月, 3月) 乳幼児向けミニコンサートの実施
はじめの 一歩	2	岩倉市青少年 スマイル議会	岩倉市青少年 スマイル議会	若者が主体的にまちについて考え、話し合い、行動するというコンセプトにした若者議会を開催する。 全12回の議会を開催し、どのような行動を起こすか議論し、実際に行動を起こす。 チラシやポスターを活用し、市内在住の学在勤者に参加を促す。
ステップ アップ 1/3	3	キノセカイ ～Kids☆Photo ～岩倉支部	ミニ・いわくら	ドイツ・ミュンヘン市で行われてきた「ミニ・ミュンヘン」を手本としたこどものまち事業。子ども実行委員と大人実行委員を発足させ、こどものまち事業やこどもの権利条約、まちづくりなどについて研修を行う。 学んだ知識をもとに計画を立て、8月に2日間の「ミニ・いわくら」を開催する。
ステップ アップ 1/3	4	岩倉MGD合唱団	岩倉MGD合唱団 音楽フェスティバル	2020年2月に、市民合唱団とその講師による演奏会を開催する。 一般市民にも参加を呼びかけ、演奏会に向けて、月3回の練習を行う。 参加者が、練習を通して発声法などの音楽技術を身につけ、今回の演奏会に限らず様々な機会で発表できるようにすることも目的とする。
ステップ アップ 1/3	5	巨匠発掘委員会	未来の巨匠を発掘する 事業	岩倉市周辺において知られていない作家や芸術家を発掘し、展覧会などを実施することで、魅力を周知していく活動。 年6回、地元の作家や芸術家のための展覧会を開催する。交流イベントも実施する。
ステップ アップ 2/3	6	古文書に親しむ 会	古文書に親しみ、 いにしえに想いをはせ 「岩倉」を学ぶ事業	①(月2回) 岩倉の歴史に触れながら、古文書の解説をするための講義を年間を通して開催する。 ②(通年) 岩倉に所蔵されている古文書を解説・翻刻し、資料として残せるものを作成する。
ステップ アップ 2/3	7	岩倉市子ども会 連絡協議会	親子でイモイモ大作 戦	子ども同士や親同士が知り合い、つながり、地域への愛着をもってもらうための事業の開催。 ①(5月) さつまいもの苗植え体験 ②(10月) 岩倉連農園で芋掘りを体験し、落ち葉で焼き芋作りを行う秋の大収穫祭の開催。 親子レクリエーションや餅つき体験も併せて行う。使用できる畑が増えたため、昨年度よりもたくさん参加者に集まってもらえるよう呼びかける。
ステップ アップ 2/3	8	NPO法人 はんどいんはんど	孤育てじゃないよ! 全員集合♪	主に祖父母向けに訪問型病児保育の理解を深める活動を行う。また、子育て、家事についての川柳を公募し、訪問型病児保育の認知・宣伝等のための広報資料として使用していく。 ①(8月) 祖父母世代を対象にした交流会の開催。将棋や茶話会を楽しみながら、参加者同士・ボランティアとの交流を図る。 ②(11月) 子ども・両親・祖父母みな参加できるファミリーフェスティバルの開催。伝承遊びを中心に交流する。 ③(8月～2月) 子育てや家事をテーマにした川柳を募集・掲示・宣伝していくことで子育て世代の理解を深める。
ステップ アップ 2/3	9	3R-いわくら	不用品を手作りする事 で物を大切にすることを 育む事業	①市民から古布の寄付を募り、布草履を作成する。 ②(8月) 市内全保育園の年長児に、作成した布草履を贈呈する。
ステップ アップ 3/3	10	おこまま	子育て世帯の母親による 楽器演奏事業	演奏活動を通して、子育て世帯の母親同士の情報交換・交流の場を作るための活動。 ①(年3回) 妊産婦・親子向けに手遊び、絵本読み聞かせ、ミニ演奏、ベビースリング体験等を行う「妊産婦交流会」の開催 ②(年2回) 市民プラザまつり等市内イベントでの演奏活動 ③(年4回) 子ども用品のお下がりを無料で預かったり譲ったりする「おさがりあげますの会」開催
ステップ アップ 3/3	11	NPO法人 ローカル・ワイド・ ウェブいわくら	「音楽のあるまちづくり」 推進支援事業	「音楽のあるまちづくり」の実現に向けて具体的なテーマについて検討し、実施につなげる。 ①(隔月) おんしんプロジェクト! 推進会議の開催(ワークショップ形式) ②(隔月) テーマごとの実行委員会の立ち上げ支援 ③(1月) 岩倉に関わりのあるミュージシャンを集める「おんしんプロジェクト! まつり」の開催 ④(隔月) オリジナル音楽情報紙「おんしん」の発行 ⑤演奏者と演奏してほしい場所やイベントを紹介してつなげる「演奏者マッチングシステム」の稼働
イベント	12	岩倉ボランティア サークル	ボラボラアウトドアクッキ ング 「ぐりぐら! おおきな おきなカステラをみんな でつくってたべよう!」	絵本「ぐりとぐら」の話の中でつくられた巨大カステラを実際にするイベント。児童は各班に分かれ、レクリエーションで交流と結束を深めながら巨大カステラづくりに挑戦する。その中で、協力するちからや団結力を養ったり、達成感を得たりすることを目的とする。



岩倉市市民活動支援センター



- 住 所 / 〒482-0011 岩倉市昭和町二丁目17番地
- TEL・FAX / (0587)37-0257
- 開館時間 / 9:00-21:30 ■ 休館日 / 年末年始
- メールアドレス city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp
- ホームページ <http://www.iwakura-plaza.jp/shimin/>

下記の市民活動支援センターのブログにリンクしています

- 市民活動支援センターNEWS ■ 岩倉の市民活動団体
- ムービーいわくら ■ 岩倉インフォメーション

メールマガジン登録はコチラから > iwakura_ad@lw.ne.jp

facebook 岩倉市市民活動支援センター **twitter** @IwakuraCSC

インターネット で検索してください

